

総合科学技術会議 評価専門調査会
「地域イノベーション協創プログラム」
第2回評価検討会 議事概要

日時：平成19年10月26日(金)15時～17時

場所：中央合同庁舎第4号館 共用第4特別会議室(4階)

出席者：古川座長、奥村議員、笠見委員、田淵委員、荒川委員、山崎委員

欠席者：原山議員

事務局：岩橋大臣官房審議官、天野参事官他

説明者：経済産業省 経済産業局 地域産業経済G地域技術課 古瀬課長、産業技術環境局 大学連携推進課 吉澤課長、他

- 議事：
1. 経済産業省に説明を求める項目について
 2. 経済産業省からの追加説明と質疑応答
 3. 討議

(配布資料)

資料1-1 経済産業省に追加説明を求める事項

資料1-2 本研究開発における評価の論点(案)

資料2 総合科学技術会議評価専門調査会「地域イノベーション協創プログラム」
評価検討会(第2回)

(机上資料)

- 「地域イノベーション協創プログラム」評価検討会(第1回) 経済産業省説明資料〔資料2〕 (平成19年10月10日)
- 経済産業省「平成20年度予算概算要求等に係る事前評価書」より抜粋 個別事業評価書〔資料3〕 (平成19年10月10日)
- 「戦略的基盤技術高度化支援事業」について (平成17年11月28日)
- 競争的資金の拡充と制度改革の推進について (平成19年6月14日)
- 国の研究開発評価に関する大綱的指針 (平成17年3月29日)
- 科学技術基本計画 (平成18年3月29日)
- 分野別推進戦略 (平成18年3月28日)

議事概要:

1. 経済産業省に追加説明を求める事項(資料 1-1)について

- (1) 資料 1-1 は、第 1 回評価検討会における経済産業省の説明を受け、評価検討会委員から提出された追加質問事項をもとに整理したものであることを、事務局より説明。

2. 研究開発概要の説明と質疑応答

(1) 評価実施状況等の説明

評価検討会委員から提出された、追加説明を求める事項について、経済産業省より資料2に基づいて説明があった。また、別途質問のあった他国の研究開発支援策の事例に関する検討結果、及びプログラム全体のモニタリングについて説明があった。

(2) 質疑応答

経済産業省の説明に対し質疑応答が行われた。主な項目を以下に示す。

- 中小企業のニーズと技術シーズのマッチングに向けた取組について
- 本プログラムにおける国際競争力強化への取組、及び事業化までの支援策について
- 戦略的基盤技術高度化支援事業他の既存施策と本プログラムの関連について
- 既存施策における地域ごとの採択件数と事業化率の状況について
- マクロ的な目標(費用対効果の見込み等)の設定について
- 事業化率の目標設定、及びその達成に向けて補助金化するとした検討のプロセスについて
- 大学の産学連携体制を巡る課題の認識について

3. 討議

第 1 回、第 2 回評価検討会の経済産業省からの説明・質疑応答、及び論点等に関する議論を踏まえ、調査・検討結果に基づいた評価の方向付けについて討議が行われた。

(1) 評価の論点について

第 1 回評価検討会における論点の議論、及びその後の評価委員からの意見に基づいて整理した、資料 1-2 の論点(案)について確認し、論点とすべき事項を確定した。

(2) 評価の方向付けについて

- 地域活性化のための各府省研究開発施策との連携と、その中で経済産業省が担うべき責任について

- 事業化促進に向けた企業ニーズと技術シーズのマッチングの重要性について
- 事業化率の伸び悩みの要因について
- 予算投入と得られた成果に関する、これまでの施策の問題点とその改善方法について
- 課題採択審査における地域の特性に対する配慮のあり方について
- リスクの高い中期的なテーマの採択、及び大学発ベンチャーへの支援の必要性について
- 本プログラムを実施することの妥当性についての評価検討会における結論付け

以上。